

## 【2023年度 企画運営委員会 事業報告】

委員長校 : 神戸大学

副委員長校: 甲南大学

委員校 : 関西国際大学、関西学院大学、神戸学院大学、神戸市外国語大学、神戸市看護大学、神戸親和大学  
神戸常盤大学、兵庫県立大学 計10校

<目的>

大学コンソーシアムひょうご神戸中長期計画Ⅱ期の柱「3.県内大学の教育・研究の質を高める多元的学びの提供」と柱「4.県内大学が活性化する大学間連携組織としての運営体制の構築」に向けて、以下の取組課題3点について、取り組む。

- 取組課題⑧「県内大学を活用した社会人の学びなおしの推進」  
(柱3.県内大学の教育・研究の質を高める多元的学びの提供)
- 取組課題⑨「大学資源を活用する地域プラットフォームの形成」  
(柱4.県内大学が活性化する大学間連携組織としての運営体制の構築)
- 取組課題⑩「県内大学が活性化する事業運営体制の整備」  
(柱4.県内大学が活性化する大学間連携組織としての運営体制の構築)

上記の体制の構築並びに、必要な新規のプロジェクト事業は本委員会にて実施する。

<内容> 取組課題⑧～⑩に対する「個別取組」は、下記の通り。

- 【取組課題⑧】(1)リカレント教育の普及促進に向けた取組  
(2)加盟校のリカレント教育に関する情報発信
- 【取組課題⑨】(1)大学間・地方自治体・企業・地域団体との連携体制の構築  
(2)緊急時の加盟校間の協力・情報提供体制の構築
- 【取組課題⑩】(1)加盟校が活性化する事業運営体制の整備と推進

上記課題について、運営体制の構築と推進は、中長期計画Ⅱ期5ヵ年において段階的に取り組む。期中において新規事業やプロジェクト企画の必要性がある場合は、本委員会にて検討し、各事業委員会と連携して事業推進を担当する。

<期待される効果>

【取組課題⑧】「県内大学を活用した社会人の学びなおしの推進」  
近年、加盟校においても取組が進む社会人教育に着目して、加盟校並びに産官学連携のネットワークを活用した「リカレント教育」の普及促進に寄与する。加盟校の特徴を活かしたリカレント教育の理解促進を図ることができる。

【取組課題⑨】大学資源を活用する地域プラットフォームの形成  
定期的に加盟校の情報を収集することで、地方自治体・企業・地域団体との連携の拡充、並びに、緊急時の情報共有・ネットワーク体制の構築ができる。

【取組課題⑩】県内大学が活性化する事業運営体制の整備  
事業運営体制が整備されることで、同じ課題を有する加盟校による小グループで課題の共有、ICTの活用、プロジェクト型での事業推進など、加盟校のニーズと実態に合わせた事業運営を実現できるようになる。加盟校が協働して大学間連携事業に取り組むことで、県内大学の活性化につながる。

課題⑧ 県内大学を活用した社会人の学びなおしの推進		予算額
取組 1・2	・リカレント教育の普及に向けた取組 ・加盟校のリカレント教育に関する情報発信	500,000円 ※受託事業収入
課題⑨ 大学資源を活用する地域プラットフォームの形成		予算額
取組 1・2	・大学間・地方自治体・企業・地域団体との連携体制の構築 ・緊急時の加盟校間の協力・情報提供体制の構築	100,000円
課題⑩ 県内大学が活性化する事業運営体制の整備		予算額
取組1	・加盟校が活性化する事業運営体制の整備と推進	0円

【2023年度 企画運営委員会 事業報告(⑧取組1・2)】

【⑧取組1・2】達成目標	【取組1】各年参加者50名以上 【取組2】各年10校以上
【⑧取組1・2】活動指標	大学・企業関係者による講演・意見交換会(年1回以上)

課題⑧	県内大学を活用した社会人の学びなおしの推進
達成目標 【⑧取組1・2】	各年参加者50名以上 各年10校以上
課題を解決する 取組概要 【⑧取組1・2】	近年、加盟校においても取組が進む社会人教育に着目して、加盟校並びに産官学連携のネットワークを活用した「リカレント教育」の普及促進に寄与する。加盟校の特徴を活かしたリカレント教育の理解促進を図ることができる。
活動指標 【⑧取組1・2】	大学・企業関係者による講演・意見交換会(年1回以上)

内容 (結果)	<p>兵庫県委託事業「リカレント教育推進事業」(委託期間:令和5年4月1日～令和6年3月31日)を受託・運営した。中長期計画Ⅱ期「課題⑧県内大学を活用した社会人の学びなおしの推進」における、【取組1】リカレント教育の普及促進に向けた取組、【取組2】加盟校のリカレント教育に関する情報発信の2取組については、いずれも達成目標・活動目標を達成した。詳細は以下の通り。</p> <p><b>【取組1】リカレント教育の普及促進に向けた取組</b>  <b>1、「リカレントフォーラム」学び直しとリカレント教育～大学開放の新しい展開～</b>                  日時: 2024年3月1日(金)14:00～16:30(オンライン)                  参加者数: 65名                  (加盟校13校20名、非加盟校24校29名、企業・団体11社14名、コンソ事務局2)                  当日のスケジュール:                  ・挨拶:兵庫県 総務部教育課 連携教育推進班長 太田稔 氏                  ・第1部:基調講演「リカレント教育の理念と社会人の学び直しの現状と課題」                  (講師)大阪教育大学 教育学部 教育協働学科 教授 出相泰裕先生                  ・第2部:意見交換会:産官学連携によるリカレント教育に関して意見を交換した。                  &lt;パネリスト&gt;                  ・大阪教育大学 教育学部 教育協働学科 教授 出相泰裕先生                  ・関西国際大学 客員教授 合田隆史先生                  ・兵庫大学 エクステンション・カレッジ 事務次長 吉田浩司氏                  ・神戸商工会議所 会員事業部 人材開発チーム長 高森良明氏                  &lt;ファシリテーター&gt;兵庫大学 副学長 田端和彦先生</p> <p><b>2、ひょうご産官学連携協議会活動報告会</b>                  日時:2024年3月12日(火)13時30分～14時15分                  内容:加盟校、兵庫県、兵庫県中小企業家同友会、兵庫県商工会連合会、兵庫県中小企業団体中央会が構成する産官学連携プラットフォームの活動報告会にてリカレント教育に関する意見交換を実施した。</p> <p><b>【取組2】加盟校のリカレント教育に関する情報発信</b>                  加盟校のリカレント講座のPRとして、大学コンソーシアムひょうご神戸HP「リカレントフェア」サイトにて、通年で講座情報を発信した。                  (23校42講座 ※公開講座サイト含む・3月5日現在)</p>			
	<p><b>新しい試み等 (事業計画に記載)</b></p>			

事業収支	収入	支出	収支	備考
	500,000円	500,000円	0円	

自己評価	【対到達目標】	4	【対継続性】	4
	<p>人生100年時代やデジタル社会の到来により、「リカレント教育」は時代の趨勢であり、兵庫県からも県内大学におけるリカレント教育の取組促進が期待されている。2023年度も自治体等との連携を図りつつ、本事業を展開している。加盟校間で大学に求められるリカレント教育の在り方、先進事例や課題を共有することは、意義がある。以上のことから、4段階評価については、当初の計画通り進行しており、本取組は継続すべきと考える。</p>			

■自己評価基準  
(対到達目標)

- 4:当初計画を上回って達成
- 3:当初計画を達成
- 2:当初計画をやや下回った
- 1:当初計画を下回った

■自己評価基準  
(対継続性)

- 4:本プログラムは継続すべき
- 3:本プログラムは継続しても良い
- 2:本プログラムの継続には改善が必要
- 1:本プログラムは中止すべき

理事会からの 改善提案 (次年度事業計画に反映)	兵庫県からも県内大学におけるリカレント教育の取組促進がコンソに対して期待されていることから、本取組を継続していることは評価できる。先進事例や課題を共有し、加盟校のリカレント教育の普及に寄与することを期待する。
--------------------------------	--

【2023年度 企画運営委員会 事業報告(⑨取組1・2)】

【⑨取組1・2】達成目標	大学間連携の特徴を生かした地方自治体・企業・地域団体との連携の拡充と、緊急時の情報共有・ネットワーク体制の構築
【⑨取組1・2】活動指標	大学・企業関係者による講演・意見交換会(年1回以上)

課題⑨	大学資源を活用する地域プラットフォームの形成			
達成目標【⑨取組1・2】	大学間連携の特徴を生かした地方自治体・企業・地域団体との連携の拡充と、緊急時の情報共有・ネットワーク体制の構築			
課題を解決する取組概要【⑨取組1・2】	(1)大学間・地方自治体・企業・地域団体との連携体制の構築 (2)緊急時の加盟校間の協力・情報提供体制の構築			
活動指標【⑨取組1・2】	大学・企業関係者等による意見交換会(年1回以上)			
内容 (結果)	<p><b>【取組1】大学間・地方自治体・企業・地域団体との連携体制の構築</b>          兵庫県下における大学間連携のプラットフォームとして、加盟校の大学資源を生かす運営体制について意見交換を企画運営委員会にて行った。また、大学間連携・地域・地方自治体との連携体制として、ひょうご産官学連携協議会総会及び報告会の開催、賛助会員様と加盟校代表者様との懇親会、文部科学大臣による講演会等を行った。今年度からの新たな取り組みとして産官学のさらなる連携強化を目指す「企業課題解決プログラム」を実施した。</p> <p>&lt;主な意見交換会&gt;          ・企画運営委員会での懇談          開催実績:          ①4月11日 ②5月12日 ③6月27日 ④7月28日 ⑤8月31日 ⑥9月26日 ⑦10月26日          ⑧11月30日 ⑨12月19日 ⑩1月19日(メール審議) ⑪2月26日 ⑫3月12日(メール審議)          ・ひょうご産官学連携協議会での懇談          開催実績:          ①2023年9月12日 2023年度第1回ひょうご産官学連携協議会総会(メール審議)          ②2023年10月25日 2023年度第2回ひょうご産官学連携協議会総会          ③2024年3月12日 2023年度第3回ひょうご産官学連携協議会総会          ・兵庫県・兵庫県中小企業家同友会・兵庫県商工会連合会・兵庫県中小企業団体中央会との意見交換          開催実績:          ①7月12日 令和5年度 加盟校新入生対象「薬物に関する意識調査」について意見交換          ②12月5日、6日に2023年度の各事業委員会の活動について意見交換          ・賛助会員と加盟校の懇親会2023          2023年12月14日開催 111名(38社70名、23校39名、2団体2名)が参加          ・盛山文部科学大臣による講演会および意見交換会          2023年12月22日開催 28校38名が参加          ・「企業課題解決プログラム」          (加盟校の有する知見を活かし、企業・団体の課題解決策を提案する産学連携プログラム)          賛助会員企業 11社からの16課題を加盟校7校の教員・学生が課題解決に取り組み、成果発表会を実施</p> <p><b>【取組2】緊急時の加盟校間の協力・情報提供体制の構築</b>          感染症(新型コロナウイルス感染症等)や災害対応等、災害・緊急事態対応等の不測の事態に備えて、リスクに関する情報連絡会を開催し、具体的な運用について議論する。          &lt;リスクに関する情報連絡会&gt;          開催実績: ①5月25日 15名(加盟校7校9名ほか)が参加          ②9月14日 11名(加盟校7校8名ほか)が参加          ③2月26日 13名(加盟校6校11名ほか)が参加</p>			
新しい試み等 (事業計画に記載)				
事業収支	収入 100,000円	支出 100,000円	収支 0円	備考

自己評価	【対到達目標】	4	【対継続性】	4
	大学間・地方自治体・企業・地域団体との連携体制の構築については、毎月1回定期的に開催した企画運営委員会において意見交換を行った。さらに、ひょうご産官学連携協議会総会を開催して、加盟校、兵庫県、産業界と意見交換を深めた。また、経済3団体に薬物に関する調査や事業に関するヒアリング・意見交換を行った。2023年度からスタートした「企業課題解決プログラム」では産学連携を深め、学生の実践的な学びと地元企業への興味、交流の促進につなげることができた。緊急時の加盟校間の情報共有・ネットワークの構築については、3回の情報連絡会を開催し、実効性のある連携体制の構築を目指して議論を深めた。以上のことから、4段階評価については、当初の計画を上回って達成しており、本取組は継続すべきと考える。			

- |   |  |
|---|--|
| ■ 自己評価基準<br>(対到達目標)<br>4: 当初計画を上回って達成<br>3: 当初計画を達成<br>2: 当初計画をやや下回った<br>1: 当初計画を下回った | ■ 自己評価基準<br>(対継続性)<br>4: 本プログラムは継続すべき<br>3: 本プログラムは継続しても良い<br>2: 本プログラムの継続には改善が必要<br>1: 本プログラムは中止すべき |
|---|--|

理事会からの改善提案 (次年度事業計画に反映)	企画運営委員会及び、ひょうご産官学連携協議会等での懇談については次年度以降も定期的実施し、産官学連携の関係強化、及び事務局体制について意見交換会を行って頂きたい。 企業課題解決プログラムに関しては、産学連携を促進し、企業と教育機関との協力関係を構築する機会となり、学生の実践的学びと県内企業理解につながる為、次年度も継続して頂きたい。 緊急時リスクマネジメント体制の構築は、定期的な見直しと改善を行い、新たな課題や変更に対応できるよう検討を重ねて頂きたい。
----------------------------	--

【2023年度 企画運営委員会 事業報告(⑩取組1)】

【⑩取組1】達成目標	加盟校の共通課題に協働して取り組む事業運営体制の構築
【⑩取組1】活動指標	企画運営委員会等における懇談の実施(年10回以上)

課題⑩	加盟校が活性化する事業運営体制の整備と推進
達成目標【⑩取組1】	加盟校の共通課題に協働して取り組む事業運営体制の構築
課題を解決する取組概要【⑩取組1】	加盟校教職員が大学間連携活動に積極的に参画できる事業運営体制を本計画期間内において、段階的に検討・構築する。 同じ課題を有する加盟校による小グループで課題の共有、ICTの活用、プロジェクト型での事業推進等のニーズに合わせて、事業運営体制の整備に取り組む。
活動指標【⑩取組1】	企画運営委員会等における懇談の実施(年10回以上)

内容 (結果)	<p>●企画運営委員会(原則、月1回の開催) 加盟校がコンソーシアム活動に積極的に参画できる事業運営体制を円滑に推進するための、事業運営体制の整備と推進、またタイプ3PF型申請に向けた共同研究・共同事務の実施についての協議等を行った。さらに今年度は、教職員・学生・地域社会のステークホルダー等に対するコンソの認知度向上、イメージアップのための事業設計、広報活動等に生かすことを目的とし、アンケートを実施した。33校より270件の回答(内訳:職員176名・教員93名)があった。集計結果をもとにワークショップを実施、コンソの強みや価値を整理し、大学間連携・産官学連携における3つの期待(①PR・プロモーション ②学内業務の効率化 ③外部資金の調達)について協議を継続的に行い、各事業委員会への新年度事業を検討いただくための指針として提示した。</p> <p>●事業運営の効率化、プロセスの可視化や情報管理・共有の充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・HP:加盟校専用ページ 各事業委員会活動や中長期計画Ⅱ期のロードマップの共有化</li> <li>・HP:トップページ 加盟校の公開講座等のイベント情報を随時更新</li> <li>・NOTE 事業委員会活動の実施報告、加盟校学生の地域活性化に関わる取組広報</li> <li>・SNS(Facebook・Twitter・Instagram) 事業委員会活動の案内</li> <li>・メルマガ配信 加盟校教職員に月1回情報発信</li> </ul>
------------	---

新しい試み等 (事業計画に記載)									
事業収支	<table border="1"> <tr> <td>収入</td> <td>支出</td> <td>収支</td> <td>備考</td> </tr> <tr> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td></td> </tr> </table>	収入	支出	収支	備考	0円	0円	0円	
収入	支出	収支	備考						
0円	0円	0円							

自己評価	【対到達目標】	4	【対継続性】	4
	<p>企画運営委員会を月1回定期的に開催し、大学コンソの付加価値について議論を行った。加盟校の教職員を対象にアンケートを実施、更に加盟校の課題やコンソ参画のメリット等の検討を重ね、「コンソの役割」を整理した。また、HP上での情報の充実化やSNS、メルマガ配信を定期的に行い、加盟校教職員に対して、事業委員会事業プロセスの可視化や情報管理・共有の充実を図った。事務局体制の整備と推進については、外部環境の変化によって柔軟に対応する必要があるため、今後継続して検討していく必要がある。</p>			

■自己評価基準  
(対到達目標)

- 4:当初計画を上回って達成
- 3:当初計画を達成
- 2:当初計画をやや下回った
- 1:当初計画を下回った

■自己評価基準  
(対継続性)

- 4:本プログラムは継続すべき
- 3:本プログラムは継続しても良い
- 2:本プログラムの継続には改善が必要
- 1:本プログラムは中止すべき

理事会からの改善提案 (次年度事業計画に反映)	事務局運営の効率化、プロセスの可視化、情報管理や共有に関しては、継続的な評価と改善を行い、最適な効率化を図る必要があるため、継続して取組みブラッシュアップして頂きたい。アンケート等で導き出された「コンソの役割」(①PR・プロモーション ②学内業務の効率化 ③外部資金の調達)については、次年度以降、適宜、企画運営委員会、各事業委員会等で協議し、実施に向けて改善して頂きたい。
----------------------------	---

2023年度 企画運営委員会 事業決算

(単位:円)

	予算	決算案	各プログラム 予算									委員会 予算・決算案					
			⑧			⑨			⑩								
			県内大学を活用した 社会人の学び直しの推進			大学資源を活用する 地域プラットフォームの形成			県内大学が活性化する 事業運営体制の整備			内訳	予算額	決算額			
			内訳	予算額	決算額	内訳	予算額	決算額	内訳	予算額	決算額						
収入	会費収入	100,000	100,000					100,000	100,000								
	助成事業収入	0	0														
	受託事業収入	500,000	500,000	兵庫県受託事業	500,000	500,000											
	プログラム収入	0	0														
	雑収入	0	0														
	戻入金	0	0														
	計	600,000	600,000		500,000	500,000		100,000	100,000		0	0		0	0		0
支出	会議費	0	0														
	旅費交通費	72,000	45,370	交通費	72,000	45,370											
	通信運搬費	50,000	289,203	通信費・HP改修費等	50,000	289,203											
	消耗品費	20,000	44,461	文具等	20,000	44,461											
	新聞図書費	1,800	0	参考図書	1,800	0											
	印刷製本費	0	0														
	光熱水料費	0	0														
	賃借料	70,000	87,240	会場費等	20,000	42,240	懇親会会場費	50,000	45,000								
	保険料	0	0														
	謝金	230,000	127,600	謝金	180,000	72,600	謝金	50,000	55,000								
	租税公課	200	0	収入印紙	200	0											
	支払手数料	6,000	2,126	振込手数料	6,000	2,126											
	諸会費	0	4,000			4,000											
	委託費	0	0														
	人件費	150,000	0	人件費	150,000	0											
	接待交際費	0	0														
	支払支援金	0	0														
	雑費	0	0														
計	600,000	600,000		500,000	500,000		100,000	100,000		0	0		0	0		0	

収入-支出	0
-------	---